

セミナー（シンポジウム）等のテーマ一覧

回	夏期セミナー（シンポジウム）等のテーマ	開催年月日	部会誌 No.
1	「家政学における関係諸学の位置」について	1968. 10. 14	1
2	(1)家政学はいかなる科学かー方法論的考察 (2)家政学を構成する諸学の位置ー家政学の体系	1969. 4. 1-3	2
3	討論「家政学の内容について」	1969. 10. 2	3
4	家政学と諸学	1970. 9. 1-3	4
5	(1)海外における家政学の動向 (2)家政学の領域	1971. 9. 1, 2	5
6	家政学の社会的貢献とは何か	1972. 8. 30, 31	6
7	「生活」ー家政学の原点	1973. 8. 27, 28	7
8	新しい家政学の構想	1974. 8. 27, 28	8
9	これからの家政学のあり方	1975. 8. 28, 29	9
10	家政学の三つの課題ー研究、教育、普及の諸面からー	1976. 8. 26, 27	10
11	家政学としての食物学、被服学、社会学・経済学	1977. 8. 29, 30	11
12	家政学を構成する諸分野	1978. 8. 28, 29	12
13	家政学を構成する諸分野ー総合化、体系化ー	1979. 8. 28, 29	14
14	家政学の総合化、体系化の基礎としての方法論について	1980.8.25,26	15
15	家政学の体系化ー家政学における原論の役割	1981.8.26,27	16
16	家政学の将来構想を考える	1982.8.23,24	17
17	家政学の将来構想	1983.8.23,24	18
18	家政学将来構想の報告書について	1984.8.23,24	19
19	家政学原論授業の問題点	1985.8.22,23	20
20	家政学原論を考える	1986.5.4	21
21	家政学原論授業の問題点	1986. 8. 21	21
22	家政学を考える	1987. 5. 30	22
23	『家政学原論』の著者を囲んで	1987. 8. 27, 28	22
24	家政学を考える	1988. 5. 30	23
25	いま、原論に問われるもの	1988. 8. 23, 24	23
26	いま、原論に問われるものパートⅡ	1989. 8. 23, 24	24
27	21世紀における家政学の視点ー家政学と環境ー	1990. 8. 28, 29	25
28	21世紀の生活をどうみるか 〈家庭経営学部会との合同セミナー〉	1991. 8. 27, 28	26
29	家政学と生活科学は同じか	1992. 8. 25, 26	27
30	家政学と生活科学は同じかⅡ	1993. 8. 24, 25	28

31	家政学の Professional Development をめざして 総括「家政学と生活科学は同じか」	1994. 8. 24, 25	29
32	岐路に立つ家政学—アメリカ家政学の動向と日本家政学の 将来—	1995. 8. 24, 25	30
33	21 世紀家政学の地平を求めて—一部会員全員による地区討議 と総合討議—	1996. 8. 27, 28	31
34	原論への問いかけを聞く—過去から、海外から—(若手企画)	1997. 8. 28, 29	32
35	30 周年の歩みを振り返り、新たなる方向を探る (家政学原 論部会 30 周年記念セミナー)	1998. 8. 24, 25	33
36	少子化社会の提起する諸課題—国際高齢者年にちなんで— (4 部会合同セミナー)	1999. 8. 26, 27	34
37	新しい世紀の家政学と家庭科教育の発展	2000. 8. 30, 31	35
38	新しい千年紀に立って家政学を考える	2001. 8. 23	36
39	個人・家族・コミュニティと原論研究—『家政学未来への 挑戦』とのかかわりで—	2002. 8. 28, 29	37
40	家政学者のリーダーシップを考える	2003. 8. 19, 20	38
41	家政学の社会的存在意義—国際的視野から—	2004. 8. 23, 24	39
42	家政学の社会貢献—教育を通して考える— (家政学原論部会・家政教育部会合同夏期セミナー)	2005. 8. 24, 25	40
43	家政学の社会的貢献—変革のための課題—	2006. 8. 23	41
44	「家庭生活」と「コミュニティ」の関係性—家政学の本質を 考える—	2007. 8. 23	42
45	家政学における原論の現代的意義とその課題 (その 1) — 21 世紀最初の 10 年を回顧し、未来を展望する—((社)日本 家政学会第 60 回大会家政学原論部会企画)	2008. 6. 1	—
46	家政学における原論の現代的意義とその課題 (その 2) —家 政学の新たな統合を求めて—「家政学研究」とは何か	2008. 8. 22	43
47	家政学における原論の現代的意義とその課題 (その 3) —こ れからの 10 年に向けて、家政学原論行動計画 (2009—2018)	2009. 8. 24	44
48	全ての家政学研究者とともに考える—ラウンドテーブル:家 政学原論の現在— ((社)日本家政学会第 62 回大会家政学原 論部会企画)	2010. 5. 30	44
49	家政学の未来を創る:家政学の現在(1)—	2010. 8. 24	45
50	行動する家政学—原論と家政教育の新機軸—((社)日本家政 学会第 63 回大会家政学原論部会・家政教育部会合同企画)	2011. 5. 29	45

51	家政学の未来を創る：家政学の現在(2)－	2011. 8. 23, 24	46
52	蓄積を活かす－家政学の社会貢献－(家政学原論部会・家政教育部会合同企画シンポジウム)	2011. 8. 24	46
53	家政学の未来を創る－家政学原論の新たな指標をめざして－	2012. 8. 21, 22	47
54	家政学の国際的潮流と日本の家政学(家政学原論部会公開シンポジウム)	2012. 8. 22	47
55	家政学的研究ガイドライン((一社)日本家政学会第65回大会家政学原論部会企画)	2013. 5. 19	－
56	家政学の未来を創る－家政学原論の新たな指標をめざして(2)「行動計画」中間年－	2013. 8. 19, 20	48
57	国際家族年20周年に果たす家政学の役割((一社)日本家政学会第66回大会家政学原論部会企画・公開討論会)	2014. 5. 25	49
58	家政学の未来を創る－国際家族年20周年から家政学の課題を問う－	2014. 8. 24, 25	49
59	震災復興の中の子どもたちの姿から家政学の役割を考える((一社)日本家政学会第67回大会家政学原論部会企画・公開シンポジウム)	2015. 5. 24	50
60	家政学の未来を創る－家政学原論の知の検証と継承－	2015. 8. 23, 24	50
61	家政学の社会貢献のための共通理解と資格化を問う((一社)日本家政学会第68回大会家政学原論部会・生活経営学部会・家族関係学部会・家政教育部会合同シンポジウム)	2016. 5. 29	－
62	家政学の未来を創る 家政学の知の検証と継承 (Part2)－部会誌50号からみた家政学原論研究の課題－	2016. 8. 22, 23	51
63	家政学の未来を創る 家政学が描く人間像－家政学は生活主体にどのように働きかけるのか－	2017. 8. 20	52
64	家政学原論部会の50年と日本家政学会((一社)日本家政学会第70回大会家政学原論部会企画(展示))	2018. 5. 26, 27	－
65	家政学の未来を創る－未来の世代の生活の質を向上させるための家政学の使命－	2018. 8. 21, 22	(53)